

## シンポジウム開催の準備にあたって

プログラミング・シンポジウムも今年で第14回を迎える。今回の宿題研究のテーマは“computer-aided programing”で、ソフトウェアの自動的あるいは半自動的な作成法とかソフトウェア開発工程の計算機による管理など、ソフトウェアの広い意味でのCADを目指すものである。国際的な関心がこの方面に高まりつつある折でもあり、多少出足はおくれた感があるが、いくつかの興味ある報告が寄せられたのは幸いであった。

総合報告的なものとしては、“CODASYLのデータベース”、“プログラミング言語の標準化の動向”および“人工知能ソフトウェア”を企画した。前二者の企画に際しては、西村恕彦さんにお世話になった。

日程に関しては、従来よりは、ある程度のゆとりをとった積りである。この3日間が活発でみのりの多い討論で埋められることを願っている。

討論が円滑に進められるよう、今回も前回同様、マイク関係には多少の工夫がこらしてある。下の会場からも直接討論に参加できるよう、下の会場にもマイクを用意したので、存分にご利用頂きたい。なお、上下の会場をつなぐテレビ施設は(財)情報処理研修センターのご好意によるものである。

なお、本シンポジウムを今後どのように発展させたらよいかについて、積極的に意見を寄せていただきたい。

1973年1月

幹事長	米田信夫
副幹事長	土居範久
幹事	石田晴久
〃	吉沢正
〃	大駒誠一
〃	中西正和
〃	淵一博
〃	渡辺隼郎

本 PDF ファイルは 1965 年発行の「第 6 回プログラミング—シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトの [https://www.ipsj.or.jp/topics/Past\\_reports.html](https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html) に下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載して、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

#### 過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者搜索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思えます。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 ([tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp](mailto:tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp)) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>